



「聖徳太子像」



制作されている。

Key word
聖徳太子

飛鳥時代の皇族、政治家。厩戸皇子または厩戸王の後世の呼称。推古天皇のもと、蘇我馬子と協調して政治を行い、国際的緊張のなかで遣隋使を派遣するなど大陸の進んだ文化や制度をとり入れる。冠位十二階や十七条憲法を定めるなど天皇を中心とした中央集権国家体制の確立を図った他、仏教を厚く信仰し興隆に務める。

破邪ど国家鎮護——北斗七星に込められし想い

七星剣

「しちせいけん」

聖徳太子が悲願を託し
四天王寺に奉納した

御物

Japanese sword starter

七星剣とは、天上の星の動きなど自然の摂理を思想にまで高めた中国の道教思想に基づく文様が施された守護剣のことである。

日本では七星剣が数点現存確認されていて、「四天王寺所蔵の七星剣」「法隆寺の銅七星剣（七星文銅太刀）」「正倉院の呉竹鞘御杖刀」「稲荷山遺跡の七星剣」「二宮神社の鉄剣「三寅剣」」などが存在している。

七星剣にある楔形の象嵌は、長い間製法が謎とされていたが、金工・柳村仙寿により再発見され、刀工・隅谷正峯の作刀により写された。以降多数の刀工金工により

data

時代◎飛鳥時代／刀工◎作者不明
所有者◎聖徳太子
所蔵先◎四天王寺／東京国立博物館寄託
レア度◎★★★★ 実戦度◎★★
宿願度◎★★★★★ 神秘性◎★★★★★